

令和5年度「人権教育研究指定校事業」事業実施報告書

委託先（徳島県）

1. 調査研究のテーマ、概要

調査研究のテーマ	豊かな人権感覚を身に付け、行動できる児童の育成
----------	-------------------------

○調査研究のテーマを設定した目的

当校には、自分の思いをうまく伝えることができず、乱暴な言葉遣いや行動で自分の感情を表現してしまう児童がいる。そして、その言動によって相手がどのような気持ちになるかという想像力が十分身に付いていないため、相手が傷付いても、教師や保護者から諭されるまで気付かないこともある。このような児童の背景には、家庭環境において保護者との関わりが適切でなかったり、学校とのつながりが希薄化していたりして、児童の自尊感情が低下している等の原因が考えられる。

そのため、当校では人権教育年間計画や学校いじめ防止基本方針に基づき、自分や相手を大切にする児童を育成する。そして、自己の人権と他者の人権を尊重する態度を養うために、幅広い社会体験や生活体験の機会を設け、他の人の気持ちを共感的に理解できる豊かな情操を培いたいと考え、本研究テーマを設定した。

○調査研究の概要

当校の児童は513名（令和6年2月28日現在）で、全体的に明るく素直で活動的である。しかし、社会環境の変化や家庭環境の多様化により、学習面・生活面ともに配慮や支援を必要とする児童が増えてきている。日常の学校生活の場面では、自分の思いや願いを相手に伝える力が十分でなく、友達とうまくコミュニケーションがとれずにトラブルになる児童もいる。そこで仲間づくりから自己や友達のよさを知り、自他を大切にできるように支援していくことが必要である。

2. 基本情報

研究指定校の概要

○学校名

徳島市津田小学校

○これまでの研究指定等の状況

なし

○学級数

25 学級（うち特別支援学級：7 学級）

○児童生徒数（R. 6. 2. 28）

全児童数：513 名

○URL

https://school.e-tokushima.or.jp/es_tsuda/

○指定理由

津田小学校のある徳島市では、令和3年3月に今後10年のまちづくりの指針となる「徳島市総合計画2021」を策定した。その中で「多様性を認め合える！個性あふれるまち『とくしま』の創造」が目標の一つとして掲げられ、一人一人が尊重し合い個性や能力を発揮して、誰もが活躍できるまちづくりをめざし、人権尊重・多文化共生社会の実現をめざした様々な取組を進めている。

津田小学校においては、令和4年度徳島県「多様性を認め合う人権教育推進協力校事業」の指定を受け、多様性を認め合い、つながりを実感する人権教育の推進・充実に取り組んできた。保護者アンケートや児童アンケート、教職員の自己評価等を分析し、学校や児童の実態と課題を把握し、学校全体で共有して研究を進めてきている。また、人権学習を各教科や特別の教科道徳、総合的な学習の時間、特別活動等に適切に位置付け、教科横断的な視点から年間計画を作成して、それに基づき研究・実践を積み重ねてきている。

令和5年度は令和4年度の研究を更に発展させ、人権教育の推進を図るとともに、研究の成果を研究発表会等で広く普及していくことで、県内の人権教育の一層の充実及び発展につながると期待されるため、津田小学校を指定することが最適であると考える。

○取り組んだ人権課題について

該当するものに○印、最も主要な人権課題 1つに◎印を付与

①子供	○
②女性	○
③高齢者	○
④障害者	○
⑤ <u>同和問題</u>	◎
⑥ <u>アイヌの人々</u>	○
⑦ <u>外国人</u>	○
⑧- 1 HIV 感染者等	○
⑧- 2 ハンセン病患者等	○
⑨刑を終えて出所した人	○
⑩犯罪被害者等	○
⑪インターネットによる人権侵害	○
⑫北朝鮮当局による拉致問題等	○
⑬性的指向、性自認	○
⑭その他（災害時における人権問題）	○

3. 調査研究の内容等

○調査研究の内容

当校が定めるめざす子ども像「心豊かに、たくましく、ともに伸びゆく津田っ子」と実際の児童の課題を踏まえ、人権教育に関するアンケートを行った。学校全体で考察すると95%の児童が「学校で友達に会うのは楽しい」と答えている。しかし、「自分のよいところを知っている」については、65%と低い回答となっている。

また、「友達がいやなことをされているとき、その人を止めることができる」と答えた児童は72.7%となった。考察の結果、人権を守ることや差別はいけないことだとは理解しているが、それを行動化できない実践力の低さが読み取れた。

このような結果を踏まえ、各学年の発達段階や実態から、本校の課題は「自尊感情の低下」「理解しているが行動できない実践力の低さ」である。そのため、本年度は次のような研究を実施することとした。

- ①共感的な人間関係を育成し、自己肯定感・自己有用感を高める指導・支援
- ②豊かな人権感覚を身に付け、実践力を養う授業・環境づくり
- ③教職員自身の感性を磨く教職員研修の充実

○実施方法

①共感的な人間関係を育成し、自己肯定感・自己有用感を高める指導・支援

○すべての児童にとって安全・安心な居場所づくり

- ・いじめをはじめとする人権侵害を発生させない学校づくり
- ・人権標語の作成掲示、校内発表
- ・人権集会の実施（人権・いじめ防止委員会による計画・立案）
- ・「自他の人権が大切にされる」「いじめや差別は許さない」という人権尊重の雰囲気の醸成（望ましい隠れたカリキュラムの実現）
- ・チーム学校として、教職員同士はもちろん、関係機関（SCやSSW等）と連携・協働した教育活動の展開

○一人一人が認められることで自己存在感を実感できる手立て

- ・多角的な広い視点からの児童理解
- ・PBS（ポジティブ行動支援）を取り入れた学校・学級づくり
- ・人権尊重の視点に立った学級目標の設定と振り返り
- ・互いに認め合える仲間づくり

○教科横断的な人権教育の実践

- ・教科横断的な視点による年間計画の作成
(各教科の目標と人権教育のつながりを意識して学習活動を計画する。)

○同和問題をはじめ様々な人権問題についての正しい知識と確かな人権感覚を身に付

け、実践行動できる教職員を育成する研修の充実

- ・県人権教育指導員や市人権教育・啓発講師の活用
- ・同和問題に関する講話の受講
- ・各学年で重要な柱にする人権課題を選択し、主体的・対話的で深い学びとなる授業づくり

②豊かな人権感覚を身に付け、実践力を養う授業・環境づくり

○一人一人が大切にされ、よさや可能性を發揮できる仲間づくり

- ・互いによいところを見つけて伝え合う活動
- ・学年の垣根を越えてありがとうの気持ちを伝え合う「あったかカード」の推進
- ・自分の考えを伝え、友達の考えを聴く態度を育てる「つだっこナビ」の活用

○児童の自己肯定感を高める学習活動

- ・自分事として課題をもち、その課題解決にむけて取り組む学習
- ・学習の振り返りによる自己の成長・変容の見取り

○児童の自己有用感を高める学習活動の創造

- ・自発的・自動的な活動「一人一活」「会社活動」等の推進
- ・生活科や総合的な学習の時間における異学年との交流学習
- ・特別活動（委員会活動、クラブ活動、学校行事等）

○多様性を認め合う共感的な人間関係の育成

- ・互いのよさやちがいを認め合える、異年齢交流「ぴかりんタイム」の活動
(高学年が主体となって計画・実践・振り返りを行う)
- ・同和問題や障がい者等の個別的人権課題に関する講師との交流・体験学習

③教職員自身の感性を磨く教職員研修の充実

○地域を教材とした体験・交流学習

- ・地域教材を使った学習・フィールドワーク
- ・地域人材によるゲストティーチャーの活用
- ・全校・家庭・地域にむけた児童の学びの発信

○家庭・地域との連携

- ・PTA人権教育推進部との連携（人権講演会等）
- ・人権ファイルを活用した、保護者との共通理解
- ・ホームページに人権学習に関する情報の掲載
- ・保護者アンケートを活用した、点検・評価と改善
- ・懇談時や日常的に保護者との情報共有や連携を生かした指導方法の工夫・改善
- ・学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）の活用

4. 検証・評価・改善・普及

①共感的な人間関係を育成し、自己肯定感・自己有用感を高める指導・支援

校内研修に全教職員参加の研究授業と授業研究会を計画的に位置付けたことにより、教職員全体で授業の指導方法や工夫改善について共有する機会をもつことができた。また、外部講師による講話を聞き、差別の現実を直接知るとともに、人権教育を取り巻く諸情勢を学ぶなど、人権の視点をもって教科横断的に人権教育を実践することができた。令和4年度から令和5年度にかけて人権教育年間計画を見直す際に、各教科との人権教育のつながりを改めて確認した。

令和5年度には PBS 研修や部落差別に関する地域交流会等、人権教育関係の教職員研修を行い、教職員の人権感覚、指導技術の向上を図った。

今後も本校の人権教育活動の充実を図りつつ、体験をともなう授業づくりの改善などを図る。

②豊かな人権感覚を身に付け、実践力を養う授業・環境づくり

異学年交流の場「ぴかりんタイム」では、上学年が企画運営し、月に1回程度の交流を実施した。立場のちがいにより、学級内では見せない相手を思いやる言動が見受けられるようになってきた。ぴかりんタイム以外にも、休み時間や授業で積極的に交流する姿も見られ、相手意識をもって話し合うことができた。上学年が下学年に対し、遊びを企画するなど異学年で共感的な人間関係を築くことができている。活動後は感想を廊下に掲示するなど、伝え合うことで異学年とのつながりが多く見られるようになった。

人権学習の授業後には、発言やノートの感想によって人権感覚の成長や変容を評価し、授業改善に努めた。児童の感想では、自分を振り返り、今後どのように自分の行動や考え方を改善していくかと考える内容が多く見られた。また、話合い活動を意図的に実施した結果、自分を肯定的にとらえる姿が増えている。人権アンケートの結果でも「自分のよいところを知っている」という問い合わせに対し 65%から 78%に上昇がみられた。

学校全体の取組として、朝の会・帰りの会での「きらりさん」の発表や「あったか言葉を見つけよう」などの活動を通して、互いのよさを見つける視点と伝え合う行動が定着しつつある。また、異学年交流後に学年の垣根を越えた感謝の言葉を伝え合う「あつたかカード」の導入を行い、校内掲示や校内放送での紹介を通して、自分の気持ちを言語化することに抵抗感が少なくなった児童が増えている。校内で行った人権アンケートでも「自分と同じように友達のことを大切にしている」等の項目が5～10%上昇した。しかし、日常生活の中では相手の事を考えて行動できていない児童もあり、引き続き継続した取組を行っていく必要がある。

③教職員自身の感性を磨く教職員研修の充実

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で家庭・地域と連携が取りづらい状況だったが、感染症対策を実施した上で保護者も参加した「インターネット安全利用教室」や人権参観日、ホームページや学年便り等の人権コーナー等、様々な啓発を行うことができた。しかし、コロナ禍以前のように家庭や地域と連携した人権啓発活動等が充分でないため、状況を見ながら啓発活動を続けていく。

令和4年度からは改めて地域教材や個別人权課題に関して交流・体験学習を見直し、内容も再構成し計画した。人と人との交流や体験から、当事者の願いや思いを直接学ぶことで、児童は視野を広げ、正しい知識を身に付けることができ、人权課題についてより身边に感じることができた。その児童が学んだ人权学習内容を参観日や家庭で話すことにより、保護者への啓発を行うこともできた。保護者からは「差別について正しい知識を学び、自分がどう行動しなければいけないかを家庭でも話し合うことができた」等のメッセージをいただいた。

今後も学校と家庭・地域が一丸となって人权を尊重する児童の育成や人权問題の解決に向けて取り組んでいきたい。

5. 人権教育に係る年間指導計画

かもめ学級 主な学習内容とねらい

月	課題	教科等	単元名・題材名 資料名(出典)等	ねらい	評価
4	普遍（仲間づくり・個性の尊重）	自立活動	新しい友達と仲良くしよう	自分の名前や好きなことを人に伝えることができるとともに、友達のことを知ることができ。また、人との適切な距離が分かる。	自分の名前と好きなことを紹介カードに表現することができるとともに、友達のことを知り、適切な距離をとることができたか。
	普遍（仲間づくり）		あいさつのひみつを知ろう	あいさつをするで自分も相手もうれしい気持ちになることを知り、進んであいさつをしようとする意欲を高める。	あいさつをしようとする意欲を高めることができたか。
5	個別（仲間づくり）	道徳	新しい生活を知ろう	感染症予防のため新生活について確認し、感染した人に差別することは間違いであることを知る。	新生活について知り、人権を守ろうとすることができたか。
6～7	普遍（自尊感情・個性の尊重）	道徳	幸せな学校について考え方	どのような学校だと自分も友達も幸せに過ごすことができるか考え、安心・安全・相談できる学校が幸せであることを知り、よい学校を作っていく意欲を高めることができたか。	安心・安全・相談できる学校が幸せであることを知り、よい学校を作っていく意欲を高めることができたか。
9	普遍（個性の尊重・自尊感情）	生活単元学習	自分のことと相手のことを知ろう	まわりの人と話すことで相手のことを知ることができ、やりとりをしようとする意欲を高める。	友達とやりとりをすることで、自分のことを伝え、相手のことを知らうとする意欲を高めることができたか。
10	普遍（仲間づくり・自尊感情）	生活単元学習	自分の気持ちを伝えよう	友達と会話をしたり遊んだりするときの伝え方を知り、伝えることができる。	泣いたり怒ったりせずにカードやことばなどを使って伝えることができたか。
	普遍（仲間づくり）	体育	運動会	集団の場で自分の力を発揮する、やり遂げることの大切さを身につけることができる。	自分の力を発揮し、最後までやり遂げることができたか。

月	課題	教科等	単元名・題材名 資料名(出典)等	ねらい	評価
11	普遍（自尊感情）	生活単元学習	自分から落ち着こう	人や物にあたらずに自分で落ち着くことができる。	イライラしたときに人や物にあたらずに自分で落ち着くことができたか。
	個別（子ども）		いじめに気づいて行動しよう	いじめに気づいたときにどのように行動すればよいのかを知り、いじめを解決するための実践力を育てる。	いじめを解決するための行動を知り、実践をすることができたか。
12	普遍（仲間づくり）	自立活動	ことばのよきについて知ろう	友達ともめたときには話し合ったり、友達のよいところをメッセージカードで伝えたりすることができる。	自分の得意な方法を使って、トラブルを解決したり、気持ちを伝えたりすることができたか。
	普遍（仲間づくり）		人権集会	交流学級の友達と一緒に全休の場で発表することができる。	全休の場で発表することができたか。
1	普遍（仲間づくり）	自立活動	相手の気持ちを考えて伝えよう	相手に分かってもらうためには、どのような言い方をすればよいかを考えることができる。	相手の気持ちを考えた伝え方をしようとする意欲をもつことができたか。
2	普遍（仲間づくり・思いやり・個性・尊重）	自立活動	幸せになることばをしらう	「ありがとうございます」「ごめんなさい」「あいさつ」など相手を幸せにすることばを知る。	相手が幸せになることを生活の中で使おうとすることができたか。
	普遍（仲間づくり・自尊感情）		いっしょに知ろう、楽しもう	自分のよいところを発表したり、友達のよいところを伝え合ったりすることを通して、自分のよさに気づくことができる。	自分のよいところや友達のよいところを伝え合うことを通して、自分や友達を好きになろうとする心が高まったか。
3	普遍（仲間づくり）	生活単元学習	お別れ集会をしよう	プログラムや卒業の準備をしたり、片付けをしたりできる。お祝いの言葉、お礼や想い出を発表し合い、卒業する6年生をお祝いする。	集会の準備や片付けをすることことができたか。卒業する6年生に感謝の気持ちを伝えることができたか。

第1学年 主な学習内容とねらい

月	課題	教科等	单元名・題名 資料名(用典)等	ねらい	評価
4 ～ 5	普遍（な かまづく り）	生活	どきどきわ くわく！ね んせい	自己紹介をし合い、自分のことを人に伝えることができるとともに、友達のことをよく知ることができる。	自分のことを人に伝え友達のことを知ることができたか。
4	普遍（な かまづく り）	特活	かずひろく ん（ひかり）	友達をいたわり、仲よくしようとする思いをもつことができる。	友達に悪いやりをもって仲よくしようとすることができるか。
5	普遍（個性の尊重） ☆P.14	特活	どんなさも ち（ひかり）	友達の気持ちに気づき、一人一人の気持ちを大切にしていこうとする意欲をもつ。	友達を大切にしていこうとする意欲をもつことができたか。
	普遍（な かまづく り）	道徳	わたしらも よせて（ひかり）	仲間はずしにされている子の気持ちをみんなの問題として考え、一人一人の友達を大切にしようとすることができる。	仲間はずしにされている子の気持ちを考えるとともに、友達の輪に飛び入りでいこうとする意欲をもつことができたか。
6	普遍（な かまづく り）	図工	だいすき がっこう	自分や友達、学校を大切にし、ともに仲よく学校生活を送っていくこうとする思いをみんなで絵に表す。	自分も友達もともに仲よく学校生活を送っていくこうとする思いを表現することができたか。
7	普遍（な かまづく り）	国語	おおきなか ぶ	協力することの大切さを理解し、力を合わせてよりよい学級にしようとする気持ちをもつ。	みんなで助け合いで認め合って、よしよい学級にしようとする気持ちをもつことができたか。

月	課題	教科等	单元名・題名 資料名(用典)等	ねらい	評価
9	個別（高 齢者）	道徳	おばあちゃん ただいま（とくしま の道徳）	高齢者に温かい心で接し、親切にしようとする気持や行動力をもつ。	高齢者と積極的に接し、温かい心で親切にしようとすることができたか。
10	普遍（な かまづく り）	道徳	うんどうか い（ひかり）	身体や能力によって差別することは誤りであることを理解し、友達の痛みや苦しみ、悩みなどに共感できるようにする。	身体や能力により差別することなく、励まし助け合っていこうとする気持ちがもてたか。
11	普遍（な かまづく り）	道徳	じゃんけん （ひかり）	好き嫌いやわがままなど、自分勝手な行動がいかに相手を傷つけ苦しめているかを理解し、みんなと公平に仲よく接しようとすることができる。	好き嫌いやわがままなどが人を傷つけていることを知り、みんなと公平に接しようとすることができたか。
12	普遍（慣 習・労働 観）	特活	ばんごはん のしたく（ひ かり）	男だから女だからという概念にとらわれず、働くことの大切さがわかり、進んで働くこうとする意欲をもつ。	人が生きていく上で仕事を家事も大切であることを理解することができたか。
	個別（障 がい者）	道徳	わたしのち いさいとき のこと（ひ かり）	一人一人が大切な存在であることに気付き、お互いを大切にしようとすることができる。	一人一人はかけがえのない命をもっていることに気付き、生命尊重の気持ちをもつことができたか。
2	普遍（力を あわせて）	特活	さるとかに （ひかり）	何気なくしている行動が、相手にとっては何に関わる重大なことになることに気付き、みんなで力を合わせて問題を解決しようとすることができる。	かにたちの立ち上がる姿から、力を合わせて不合理や矛盾に立ち向かっていく必要性に気付くことができたか。
3	普遍（自 尊感情）	生活	もうすぐ2 年生	1年間を振り返り、自分の成長に気付き、自分なりの表現方法でまとめるができる、友達の発表を開き、お互いの成長に気付くことができる。	自分の成長や良いところに気付き、表現することができたか。

第2学年 主な学習内容とねらい

月	課題	教科等	単元名・題材名 資料名(出典)等	ねらい	評価
4	普通（なかまづくり）	特活	かもめ学級のお友達を知ろう	身近な友だちのことを知り、互いに助け合って学校生活を送っていくこうとする。	なかよく助け合おうという気持ちがもてたか。
5	普通（思いやり）	道徳	こわれたえんぴつたて（ひかり）	自分たちの中にある「決めつけ」に気付き、自分たちの生活を振り返って、正しいと思うことを実行することができる。	自分たちの生活の中にある「決めつけ」に気付くことができたか。
6	普通（なかまづくり）	図工	人権ポスター	自分や友達を大切にし、とともに仲良く学校生活を送っていくこうとする思いを絵で表現する。	友達と仲良く学校生活を送っていくこうとする思いを表現することができたか。
	普通（なかまづくり）	道徳	やさしい村の子どもたち	自他の違いや自分の好き嫌いにとらわれないで接しようとする。	自他の違いを受け入れ、誰とでも仲良くしようとする気持ちがもてたか。
	普通（力を合わせて）	国語	スイマー	自分たちの生活と重ね合わせることによって、前向きな目的のために仲間と力を合わせて立ち向かうことの素晴らしさが分かる。	仲間と力を合わせて行動することの素晴らしさに気付き、自分たちの生活の中で生かせるようになったか。
7	個別（障がい者）	道徳	とべないはたる（ひかり）	障がいのある人の思いや願いについて考え、相手の気持ちを思いやる心をもつ。	障がいのある人の思いや願いについて考えることができたか。
9	個別（高齢者）	道徳	おばあちゃんの手（ひかり）	お年寄りの生き方や知恵を知ることにより、尊厳の念をもち、温かく接しようとする気持ちをもつ。	高齢者の方に尊厳の念をもち、温かく接することができるようになったか。
10	普通（相手の身になつて）	国語	お手紙	友達どうしが互いに喜びや悲しみを分かち合い、相手の身になって行動することの素晴らしさに気付く。	相手の身になって行動することの素晴らしさに気付くことができたか。
	普通（なかまづくり）	特活	ドッジボール	能力の違いによって友だちを差別することなく、仲よく助け合おうと合うする気持ちをもつ。	能力の違いによって友だちを差別することの誤りに気付き、助け合っていこうとする気持ちが持てたか。

月	課題	教科等	単元名・題材名 資料名(出典)等	ねらい	評価
11	普遍（なかまづくり）	道徳	ひろみちやんとゆみちゃん（ひかり）	友達の外見や能力だけで判断することの誤りに気付き、友達の本当の気持ちに寄り添い仲よくすことができる。	友達の気持ちに寄り添って考えられるようになったか。
	普遍（地域）	生活	もっとなかよしまちたんけん	まちで働く人とかかわることにより、地域への親しみや愛着をもつ。	津田のまちのいろいろな良さに気付くことができたか。
12	普遍（くらし）	道徳	におい（ひかり）	どんな仕事を社会の役に立つ大切な仕事であることを理解し、職業に対する正しい見方や考え方をもつことができた。	どんな仕事を社会の役に立つ大切な仕事であら、一生懸命に生きてる素晴らしい仕事を理解できたか。
1	普遍（なかまづくり）	道徳	からすのおうさま（ひかり）	本人の努力とは無関係な外見などで差別することの誤りに気付き、真実を見ぬき、互いに理解し合うことができた。	外見などで差別することの誤りに気付き、相手を理解することの大切さを考えることができたか。
2	普遍（偏見と差別）	国語	スーパーの白い馬	白馬とスーパーの強い心の糸を読み取りながら、身勝手な駄目な怒りをもたら、差別は許せないという気持ちをもつ。	身勝手な差別は許せないという気持ちをもつことができたか。
	普遍（命） ☆P.17	道徳	おかあさんのおなかそれでもわたし（ひかり）※演訣	自分の生命の大切さや成長にこめられた家族の願いを知り、自分も友だちも大切な命を持っていてることを確認し合うことができた。	命の大切さに気付き、自分も相手も大切にしようという気持ちをもつことができたか。
3	個別（男女）	特活	かみひこうき（ひかり）	男だから女だからという固定観念で決めつけず、自分らしさを大切にしようとする気持ちをもつ。	自分らしさを大切にし、お互いに認め合うことができるようになつたか。

第2学年 人権学習年間計画

相手の気持ちを考えて、みんなで助け合って生活できる。

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国語		うれしいことば(普通・個性の尊重)	スイマー(普通・個性の尊重)			お千鶴(普通・相手の身になって)				スーサイドの白い馬(普通・偏見と差別)	
算数	表とグラフ (普通・仲間づくり)						100cmをこえる長さ(普通・個性の尊重)				
生活科	春だ 今日から2年生	どきどきわくわくまらんけん (普通・思いやり)			うごくうごくゆたしのおもちゃ (普通・仲間づくり)				あしたへ ジャンプ (普通・生命の尊重)		
		大きく なあれ わたしのやさい(普通・生命の尊重)			生きものなかよし まちたんけん(普通・思いやり)						
音楽	音がくでみんなつながるう										
図工		人権ホスター(普通・仲間づくり)									
体育	ボールはこびおに (普通・仲間づくり)	水泳遊び(生命の安全教育)	リレーあそび(運動会) (普通・力を合わせて)		ボールなげゲーム (普通・仲間づくり)				ボールけりゲーム (普通・仲間づくり)		
道徳	こわれたえんぴつたて(普通・仲間づくり)	ありがとう りこうたさん(普通・仲間づくり)	とべないほたる (個別・障がい者)	おばあちゃんの手 (個別・高齢者)		ひろみちゃんとも みちゃん(普通・くらし)	におい(普通・くらし)	からすのおりさま (普通・仲間づくり)	おかあさんのおなか (普通・命)		
特活	自分のことを友だちに紹介しよう(普通・仲間づくり)	かみめ学級のお友達を知ろう(普通・仲間づくり)	ワクマシダ (他者理解)		ドッジボール(普通・仲間づくり)		人権集会(普通・仲間づくり)			かみひこうき(個別・男女)	

第3学年 主な学習内容とねらい

月	課題	教科等	単元名・題名 資料名(出典)等	ねらい	評価
4 ～ 7	普遍 (地域への 貢献・関心) 住民(高齢者、女性)	総合 社会	知りたいな 津田の町	津田のまちのよさや特色に 気付き、自分の住むまちに誇 りをもつと同時に、他の地域の よさや特色も尊重するこ とができる。	自分の住むまちのよ さや特色に気付き、誇 りをもち、他の地域の よさや特色も尊重する ことができたか。
4	普遍 (なかまづ くみ)	道徳	はじめて小 鳥が飛んだ とき (ひかり)	自分や友達を見つめ、一人 一人がかけがえのない存在で あることを理解し、互いに認め 合い支え合いながら生活してい こうとする態度を育てる。	自分や友達を認め 合い、みんなで支え 合って生活していこ うとする意欲を高め ることができたか。
5	普遍 (地域への 貢献・関心) 住民(高齢者、女性)	総合 社会	知りたいな 津田の町	津田のまちのよさや特色に 気付き、自分の住むまちに誇 りをもつと同時に、他の地域の よさや特色も尊重するこ とができる。	自分の住むまちのよ さや特色に気付き、誇 りをもち、他の地域の よさや特色も尊重する ことができたか。
6	普遍 (なかまづ くみ)	道徳	泳げた二十 五メートル (ひかり)	学力や能力による差別に気付 き、差別に負けない強い心を育 てるとともに、友達の立場や願 いをしっかりと受けとめること ができる。	差別に気付き、差 別に負けない心を育 て、友達の思いを受 けとめることができ たか。
7	普遍(判断 と選択)	道徳	たった1度だ けの(ひかり)	「たった1度だけのあやまち」 で人を判断することの誤りに 気付かせ、常に実を確かめ、 友達を大切にしていくこうとす る態度を育てる。	正しいと思つたこと は、勇気をもって立 ち向かう大切さに気 付いたか。
9 ～ 12	普遍(命)	総合	生き物バン ザイ	生き物を育てることを通 じて、命の大切さに気付く。	命の大切さに気付 くことができたか。
9 ～ 14	普遍(自尊 感情・個性 の尊重) P.14	国語	わたしと小 鳥とすずと	自分や友達の個性を認め合 い、大切にすることができる。	個性を認め合い、 大切にすることが できただか。
個別 (障害者) 普遍 (個性の 尊重)	体育	かけっこ・ リレー	身体や能力によって差別する ことは誤りであることを理解 し、違いを認め合い、励まし合 って運動することができる。	差別することの誤 りを理解し、違いを 認め合い、励まし合 って運動するこ とができただか。	

月	課題	教科等	単元名・題材名 資料名(出典)等	ねらい	評価
10	普遍 (なかまづ くみ)	特活	なかまはず し(ひかり)	くせや考え方の違いにより、 仲間はずしやいじめを、しな い、させない、許さないため に、自分にできることを考え 実行することができる。	仲間はずしやいじ めをしない、きむを ない、許さないために、 自分にできることを 実行しようとするこ とができたか。
11	普遍 (なかまづ くみ)	特活	ともだち (ひかり)	仲間について深く考え、一 人一人が大切にされる学級集 団をつくろうとする思いをも ち、絵に表す。	一人一人が大切に される学級集団をつ くろうとする思いを 表現することができ たか。
12	個別(同 和問題)	道徳	わたしたち の村 (ひかり)	開拓村の人々を、自分たち とは違う集団とし見ようとする 村人の意識の不合理さに気 付く。	自分たちとは違う と思う村人の意識の 不合理さに気付くこ とができたか。
1 ～ 3	普遍 (個性の 尊重・自 尊感情)	特活	かがやけ命	自分や友達の生まれてから 今までのことを知り、お互い の命を大切にすると同時に自 分のよさを生かした将来の夢 について考えることができる。	自他の命を大切にし ようという思いをもち、 自分のよさを生かした 将来の夢について考 えることができたか。
1	普遍 (くらし) 個別 (女性) ☆P.15	道徳	女だから? 男だから? (ひかり)	男女の性差による差別から 人権意識を養い、身の回りに ある人権問題へと目を向けら れるようにする。	性差による差別か ら、身の回りの人権問 題へと目を向けよう とすることができた か。
2	普遍 (命) ☆P.28	特活	赤ちゃんの 時のこと (ひかり)	家族からの聞き取りにより、 自分は周りの人の愛情や願い に支えられて大切に育てられ てきたことに気付く。	周りの人の愛情や 願いに支えられて大 切に育てられたこと に気付くことができ たか。
3	普遍 (個性の 尊重・自 尊感情)	国語	モチモチの 木	京太が真夜中に、じさまを 助けるために医者様を呼びに 行けた理由を考え、本当の「や さしさ」について考える。	本当の「やさしさ」 について考 えること ができたか。

第3学年 権利学習年間計画

自分のよさや友達のよさに気づき、認め合い、協力して生活できる。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
国語 書写					わたしと小鳥と すずと (普通:個性尊重)	ちいしゃんのかげ おくじ(普通:命)						モチモチの木 (普通:個性の尊 重・自尊感情)		
社会	わたしたちのまちの様子 (個別:障害者・高齢者)	よりよい買い物をするために (個別:女性)		工場ではらく人の仕事 (個別:同和問題)		あいさつの安全を守る (普通:共に生きる)						かわるわたしたちのくらし(個別:高齢者・女性)		
算数														
理科	たねをまこう (普通:命)	チョウを育てよう・植物の育ちと つくり (普通:命)		いろいろな虫の觀察 植物の一生(普通:命)								おもちゃラン (普通:仲間作ら)		
つ だ の こ タ イ ム	「つどっ子 パンザイ 自然がすき 津田がすき」(70時間)													
	知りたいな津田の町(25時間) 津田の町を4コースに分けて探検し、まもの 様子を知らう(20時間)			調べたこと、観察した ことを発表しよう (5時間)			生き物ばんざい(10時間) 生き物が興味を持ち生態や不思議に 思ったことを調べよう(10時間)			すごいな津田の町(25時間) 地域の産業であるカマボコ工場を見 学し、わかったことや思ったことを まとめる(25時間)			○学習発表会や6年生を送る会を成功させよう (10時間) 友達と力を合わせて計画をたて、準備をしよう。	
音楽												らいさにつけたまる音楽でつながろう 音の重なりをかんじて合わせよう (普通:仲間づくり)		
国語	絵の具と水のペー モニー (普通:個性尊重)													
体育	レッズグンス(普通:仲間づくり)				かけっこ・リレー (普通:個性の尊重)		フコアバレー (普通:仲間づくり)					フットベースボール (普通:仲間づくり)		
道徳	はじめて小鳥が飛 んだとき たのしいな学校 (普通:仲間づくり)	いいないことあつ たのかな (個別:障がい者)	わたししたこと あげた二十五メートル わざ堅・つらい気もち (普通:なかまづくり)	いごわる たった一度だけなの ないた赤おに (普通:仲間づくり)	お父さんの仕事 (普通:勤労)	四人五人やく わたしだって (仲間づくり)		わたしたちの村 (個別:同和問題)		女だから?男だか ら? (普通:女性)				
特活	会社活動を始めよ う(普通:仲間づ くり、個性尊重)	会社活動で学級のみんなと仲良くなる (普通:仲間づくり、個性尊重)			会社活動で学年のみんなと仲良くなろう(普通:仲間づくり、 個性尊重)					会社まつりをしよう (普通:仲間づくり、個性尊重)				

第4学年 主な学習内容とねらい

月	課題	教科等	单元名・題材名 資料名(出典)等	ねらい	評価
4	普遍 (人権教育の概念)	道徳	教室はまちがうところだ	互いに意見を述べ交換する中で、伸びるのは学力よりも仲間意識だと実感することができる。	仲間のすばらしさを感じることができたか。
4	個人 (障がい児者)	総合	かもめ・しるかぜ学級と交流しよう	それぞれの学級の特徴やがんばっていることを知り、共生について考え、自分ができることを考えることができます。	高齢の方と共に生きていくために自分ができることは何かを考えることができたか。
5	普遍(仲間づくり)・同和問題の学習	図工	人権ボスター	自分や周りの偏見や差別に気付き、自他の人権を大切にしようとする思いを絵で表現することができる。	自他の人権を大切にしようとする思いを絵で表現することができたか。
	普遍(仲間づくり)	道徳	いっべんぞなったろか(ひかり)	傍観者にならず、正しく適切な行動をとろうとする判断力や行動力を養う。	傍観者にならず、正しく判断し行動しようとする意欲をもつことができたか。
6	個別 (犯罪被害者等)	保健	育ちゆく体とわたし	男女の発育の違いを知り、お互いを尊重することができる。	男女が仲良くしようとする気持ちをもつことができたか。
	個別 (高齢者)	道徳	よもぎ荘との交流(ひかり)	思いやりの心をもって、だれにでも親切にしようとすることができる。	思いやりの心をもつことができたか。
7	普遍(仲間づくり)	道徳	和夫と進(ひかり)	外見や偏見で人を判断することの間違いや人権の大切さを理解し、互いに認め合い支え合おうとすることができる。	人権の大切さを理解し互いに認め合い支え合おうとすることができたか。
9	個別 (災害時における)	社会	自然災害にそなえるまちづくり	自然災害にそなえるまちづくりについて、高齢者や障がい者の立場に立って、調べたり考え	高齢者や障がい者の思いや願いをとらえることができたか。

人権問題)			たりする、
個別(障がい者)	道徳	ぼくだけのルールはいらぬい(ひかり)	障がいのある人の願いや思いを受け止めて、共に支え合って生きていこうとすることができる。
9~2	総合	ふれあいの輪を広げよう 障がいのある人に学ぼう	障がいのある人の思いや願いを大切にし、共に生きていこうとすることができたか。
10	道徳	わたしなのやみ(ひかり)	障がいのある人にに対して、そのことで夢現したり、差別したりすることがないに非人間的な行為であるかを理解し、一人一人を尊重し、対等の關係で接し生える仲間づくりをしていることができる。
11	道徳	神戸の復興はみんなの手で	力を合わせて仕事をする人しさを理解し、決まりを守ってみんなのために進んで働くうとする態度を養う。
12	道徳(人権被害の有無)	だから、れるい(ひかり)	貧しい人権感覚や差別を見抜き、積極的に人権問題に取り組もうとすることができる。
	社会	小松原田の今と昔	荒井親子がどのような思いで開拓を行ったか考えることができる。
1	道徳(仲間づくり)	悪いときめている(ひかり)	偏見や先入観をなくし、お互いに認め合い、みんなで問題を解決しようとすることができる。
2	道徳(同和問題の学習)	いのちをつないだ牛(ひかり)	すべての人が平等に生きられる存在であることを理解し、多様な生き力を認め合いともに生きていこうとすることができる。
3	道徳(同和問題の学習)	差別のないまちづくり(ひかり)	別をなくすための人権学習について正しく理解する。

第4学年人権学習年間計画

まわりの人と心を伝え合い、共に支え合える。

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国語						ごんぎつね(普遍・人権感覚の育成)			もしものときにそなえよう(個別・災害時における人権問題)		
書写											
社会					自然災害にそなえるまちづくり(個別・災害時における人権問題)		小松新田の今と昔(普遍・人道支援)			国際交流がさかんなまちづくり(個別・外国人)	
算数											
理科											
つだつこタイム	「ふれあいの輪を広げよう」(70時間) <ul style="list-style-type: none"> かもめ・しおかぜ学級と交流しよう【25時間】 <ul style="list-style-type: none"> ○かもめ・しおかぜ学級について知ろう <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの学級の特徴を知ろう ・かもめでがんばっていることを知ろう。 ・障がい児者の生活について話を聞こう。 ・障がい児者との共生について考えよう。 ◎かもめ・しおかぜ学級 ◎ゲストティーチャー(障がいのある方) 			ふれ愛の輪を広げよう【28時間】 <ul style="list-style-type: none"> ○体の不自由な人や目や耳の不自由な人について知ろう <ul style="list-style-type: none"> ・アイマスク体験や車椅子体験をしよう ・交流会をしよう ・体の不自由な人の気持ちや願いを知ろう ・自分たちにできることを考えよう ◎ゲストティーチャー(障がいのある方) 			ともに生きる【17時間】 <ul style="list-style-type: none"> ○地域の一員として、自分ができることを考えよう <ul style="list-style-type: none"> ・互いの人権を尊重し合い、ともに支え合って生活していくにはどうすればよいかを考えよう ・学習発表会などを通じて、学んだことや考えたこと自分ができることを発信しよう ◎保護者 			みんなの音楽バー ティー(普遍・仲間づくり)	
音楽											
図工	人権ポスター(普遍・同和問題)										
体育	キックベースボール(普遍・仲間づくり)				運動会種目・リレー(普遍・仲間づくり)	育ちゆく体とわたし(個別・犯罪被害者等)	ポートボール(普遍・仲間づくり)		ゴールサッカー(普遍・仲間づくり)		
道徳	教室はまちがうところだ(普遍・人権教育の概念)	いっぺんどなったろか(普遍・仲間づくり)	和男と進(普遍・人権感覚の育成)	だから、わるい(普遍・人権感覚の育成)	ぼくだけのルールはない(個別・障がい者)	わたしのなやみ(個別・障がい者)	神戸のふっこはぼくらの手で(個別・災害時における人権問題)	よもぎ荘との交流(個別・高齢者)	悪いときめている(普遍・仲間づくり)	いのちをつないだ牛(個別・同和問題)	差別のないまちづくり(個別・同和問題)
特活	みんなの学級(普遍・仲間づくり)							人権集会(普遍・人権感覚の育成)	わが村へのおりもの(普遍・人道支援)	ぼくの生まれた日(普遍・生命尊重)	

びかりんタイムの計画・運営・実施(普遍・仲間づくり)

第5学年 主な学習内容とねらい

月	課題	教科等	直系名・ 姓氏名(山川)等	えらい	評価
9	個別(被害者)	道徳	まつやま(ひかり)	情がをそつて、人との接觸を理解する。	信権を守るために、人のことを思って行動する。
	個別(女性)	保健	かわい(ひかり)	つこく情のめぐみを理解する。	性暴力に対する知識をもつて、自分を守る。
10	個別(女性問題)	道徳	不合理的なしひかり	現状の不合理的なところを認め、自分を変える。	不公平なことを認め、自分を変える。
	個別(外国人)	英語	行ってみた い国や地域	世界の文化を理解する。	文化の違いを理解する。
11	個別(イントラネット) ☆P.146	道徳	守らう。(ひかり)	インチ(ひかり)	情報に適応できる。
12	個別(女性者・障害者・高齢者・インターネット)	総合	人権集会について	人権の報道を読む。	人権を守ることの大切さを理解する。
1	個別(同和問題)	道徳	山の粥(ひかり)	偏見をなくして、理解し生きる。	差別をなくして、理解し生きる。
2	個別(公害に対する侵害)	社会	水俣から(ひかり)	人間ができるときの問題について公で受け取る。	公害問題を理解する。
3	普遍(命の尊厳)	理科	動物のよのよ	良解説書	命の尊厳を理解する。
個別(同和問題)	道徳	人権が認められていらぬめひかり	人権が認められていらぬめひかり	自分の意見を尊重する。	自分の意見を尊重する。

第5学年 権利学習年間計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国語	教えて、あなたのことを教えてよ ことなまえつけてよ	きいて、きいて、さいてみよう 見立てる	日本を十七首で 古典の世界 目的に信じて引用 するとき	カレーライス	私たちの花 どちらを選びますか 新聞を読もう 教科	かずねびと		よりよい学校生活のため に因有様が教えてくれること	やなけたか、アン パンランの臭気ーー あなたはどう考え る	想像力のスイッチ を入れよう 方言と共通語	伝わる表現を選ぼう この本紹介します	大満じいさんとガン
社会	日本の国と世界 の国々	自然とともに生きる人々のくらし～ アイヌの人たち～	米作りのさかなん地 城	水産業のさかなん地 城	これからも食料生 産	自動車の生産には げむ人々	日本の工業生産と 貿易・運輸	情報を伝える人々 とわたしたち	くらすこと産業を支 える情報通信技術	生活環境を守る 水俣から（ひかり） (普通・公害患者に 対する人権侵害)	国土を守る	
算数												
理科		植物の発芽と成長	メダカのたんじょ う	花から実へ								ヒトのたんじょ (普通・命の尊厳)

「豊かに生きる」(70時間)

◎知ろう考えよう津田の環境・防災 (20時間)

- ④津田の町の環境・防災について調べよう
 - ・津田の自然環境の特色
 - ・地域の人々のくらしのつかわら
 - ・あまものしきつけ
 - ・えびそうめん
 - ・自然災害が起きたときの対応策を調べ、クラスで發表しよう

避難所の生活 (個別・災害における人権問題) 2時間 6月

防災情報を作りこなす (5時間)

◎情報を作りこなすII (15時間)

- ④情報モデルについて考えよう
 - ・講演会トランプ
 - ・講べたりやんだらしたことまとめで発表しよう
- ④卒岐少年自然の家の計画や報告 (10時間)
 - ・自然の豊い計画を立てよう
 - ・卒岐の活動報告を作ろう

情報を作りこなす (個別・インターネットによる人権侵害) (6時間)

発信しよう (20時間)

- 学習発表会をしよう
- 6年生を送る会を成功させよう

音楽	にっぽんのうたみ なんのうた	音の重なちとひびき	アンサンブルのみりよく	響き合いを生かし	豊かな表現を求めて	日本の音楽 世界の音楽	にっぽんのうたみ なんのうた	音楽のききどころ	気持ちを合わせて	
	人声オペラ：(仲間づくり、創作曲)									
図工	私の生活大発見 (普通・自立と共生)	おいしい楽しい調理の力	ひと針に心をこめて		尚能可能を暮らしへも のやお身の使い方	食べて元気！ご飯 物を生かして仕込み やすく		気持ちがつながる家 成の時間	ミシンにトライ！手 作りで楽しい生活	
家庭										
体育		ティーボール			心の健康 (普通・ 女性)	フレー	ハンダボール		けがの防止	
道徳		みんなで話そう (個 別・障がい者)	ほくの心のそこ (個 別・障がい者) ヘレンと共に		ママはずっとといっ ながまだったのか (普通・仲間づくり)	不合理なしきたり (個別・女性・同 和問題)			山の粥 (普通・同 和問題)	
特活	学級目標を作りこな り (普通・仲間づくり)	かもめ学級を知る (個別・障がい者 など)	ちがいのちがい (普通・女 性・障がい者・仲間 づくり)			守るライン・ネットモ デル (個別・インター ネットなど)	人権集会について (普通・女性・障 がい者・部員有り ・インターネットなど)	東日本大震災を通 じて		「人権が大切にされ るまちづくり」をめ ざす (普通・同 和問題)
外國語	様々な国のあいさ わを聞きこなす (個別・ 外國人)	誕生日おスターを 作ろう	時間割を作ろう	プロジェクトカードを作 ろう	宝物への道案内を しよう	あこがれの人をじ ょうかんしよう	三島のいろいろな言葉で 新語のあいさわこよ う (個別・外國人)	ランチメニューを考 えよう	自分の町をしようか いこよう	

びかりんタイムの計画・運営・実施 (普通・仲間づくり)

第6学年 主な学習内容とねらい

	姓 種	教 科 等	单元名・題材名 資料名(出典)	ね ら い	詳 解
4	個別 (子ども) 著述 (子どもの権利)	道徳	権利! って何だろう (ひかり)	人権に関する法律や条約があることを正しく知り、自分の権利を大切にすると同時に、相手の権利も大切にすることができるようになる。	自分の権利とともに相手の権利も大切にすることができるようになった。
	個別 (障がい者)	道徳	街に消えかからず (ひかり)	障がい者と共に生きる社会をつくっていくためには、自分や周りの人々の心の変容がまず必要であることを理解することができるようになる。	と共に生きる社会をつくるために、自分や人々の心の変容が必要であると理解することができた。
5	普遍 (心開拓くり)	精神	かおりの決心 (ひかり)	人権を無視する行動につられずに自分で判断し、正しいと思うことを勇気ももって行動できるようになる。	自分で判断し、正しいと思う行動をとることができるようにになった。
	個別 (日本人並致問題) ★P.5	社会	めぐみへ (ひかり)	拉致問題の実態を知り、拉致問題が生命や安全を脅かす重大な人権侵害であることを認識する。	拉致問題の実態を知り、協力してよりよい社会の実現に取り組もうとする意欲をもつことができた。
6	個別 (H.I.V.)	体育	病気の予防 みんなの保健	エイズに対する正しい知識を身に付け、共生共生に関する知識を深める。	エイズに対する正しい知識を身に付けて、共生共生に関する知識を深めることができた。
7	個別 (性的指向・性自認)				
8	個別 (新型コロナウイルス感染症に関する人権問題)	道徳	新型コロナウイルス感染症に関する人権問題	新型コロナウイルス感染症について正しく理解し、感染者と共に生きる社会をつくるために自分にできることは何かを考えることができた。	感染者と共に生きる社会をつくるために、自分にできることについて考えることができた。
9	個別 (アイヌ) ☆P.91	社会	祖国下の日本	アイヌの人々の豊かな生活を確かし人権を無視した行動に対し、アイヌの人々は立ち上るが、一層厳しい支配下におかれたりと、今も残るアイヌの人々への差別について理解する。	アイヌの人々への差別と、アイヌの人々の思いを理解することができた。
10	個別 (インターネット)	道徳	ネットワーク (副読本)	オフラインの表にある情報機器利用に関する部分を理解し、相手の気持ちを考えて行動するとともに、公共のまわりやマナーを守ることができる。	情報の利便性と危険性をし、きまりやマナーを守る心地を高めることができた。

月	課 題	教 科 等	单元名・題材名 資料名(出典)	ね ら い	詳 解
11	個別 (ハンセン病)	特任	小さなかけ橋 (ひかり) ☆P.119	ハンセン病に対する医学的・科学的な基礎が不十分なことから、悪いた衷でこみを浪走の危惧意識が生まれ、人権問題が生じたことを理解し、意見交換会を経て「らいで防治」の育成内容に立ち上げることができた。	ハンセン病について正しく理解し、誤った悪いこみや誤謬の危惧意識から大きな人権問題が生じることを理解することができた。
	個別 (同和)	社会	塗染 桜 (ひかり)	新しい身分制度のしあわせの中で人間としての尊厳を守るために、団結して立ち上がった人々の生きざまを学ぶことで、差別解消に向かって立ち上がろうとする意欲をもつ。	不当な差別に対し、差別解消に向けて立ち上がるうとする意欲をもつことができた。
	個別 (同和問題)	社会	公平社会運動 (ひかり)	「水平社宣言」の意義を考えると共に、今なお残る差別を解消する意欲をもつことができる。	「水平社宣言」の意義を考えると共に、今なお残る差別を解消していく意欲をもつことができたか。
12	個別 (同和問題)	道徳	教科書無償の運動 (ひかり)	憲法に定められた権利を守るために、肚り強く取り組んだ人々の姿に共感し、正しいことの通る世の中にを作っていくこうとする意欲をもつことができる。	権利を守るために、肚り強く取り組んだ人々の姿に共感し、正しいことの通る世の中をつくり、これをする意欲をもつことができた。
	個別 (同和問題)	社会	解放令 (ひかり)	解放令が当てもかかわらず、笠置が残った不合理に落ちをもつともに部落問題の癪は、単に身分制度の改革だけでなく、さまざまな施策が必要であることを理解する。自分自身がまた親む問題であることを実感して、差別解消にむかう意欲をもつことができる。	同和問題は、自分自身が取り組む問題であることを実感し、差別解消にむかう意欲をもつことができたか。
	個別 (同和問題)	道徳	識字学級と学習会 (ひかり) ☆P.97	学習六章で識字学級での学習が、差別に打ち勝つための重要な冒頭であることを理解し、すべての人の人権が守られる社会を築くために自分にできることを考えることができる。	差別をなくすために力をつけることの重要性を理解し、すべての人の人権を守るために社会を変くために自分にできることを考えることができたか。
2	個別 (外国人)	社会	日本とつながりの深い国々	言葉や生活の違いを理解して、外国人の人々と親しく接し、あたたかい心で助け合ふ、人類の幸福に役立つにならうとする意欲をもつ。	相手を信頼し、それに応える人になるとする意欲をもつことができたか。
3	普遍 (仲間づくり)	特任	自分の問題ところで (ひかり)	毎日の何気ない出来事の中にも人権が深くかかわっていることに気付き、人権と自分の生活との関係を考えられるようになる。	様々な人権問題に気付き、主体的に解決していくこととする行動力を養うことができたか。

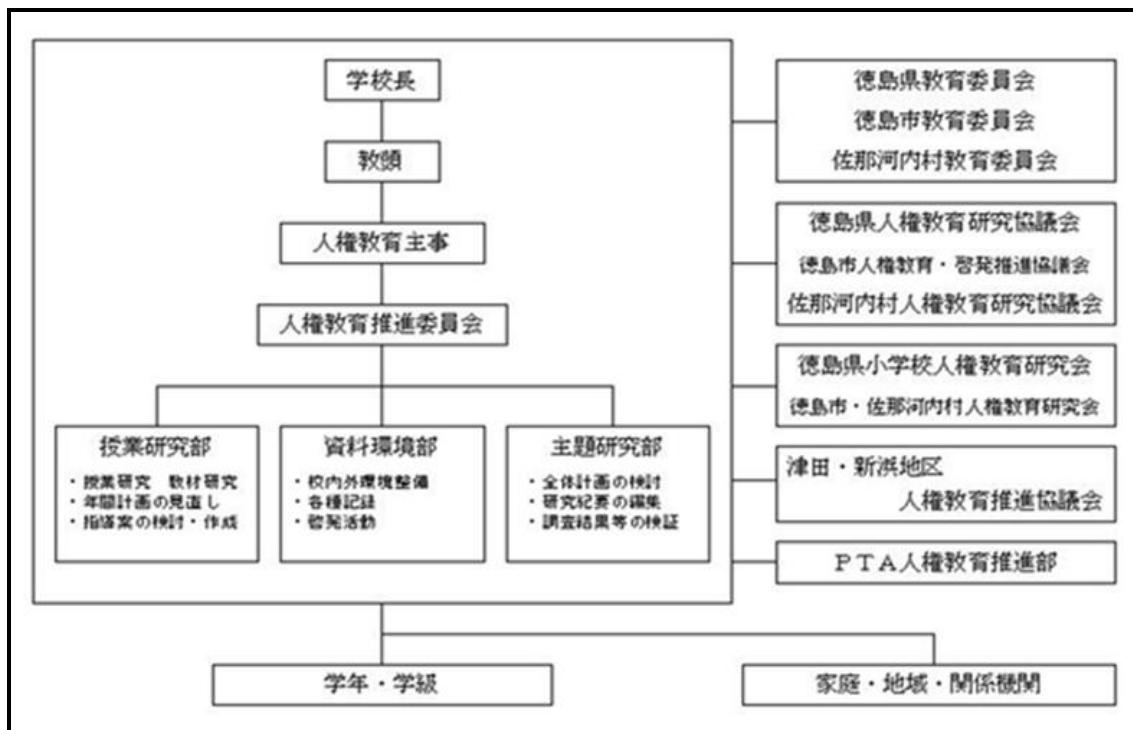
第 6 学 年 人 権 学 習 年 間 計 画

さまざまな差別の不合理や矛盾に気づき、解決しようとする意欲と行動力をもつ。

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国語 書字	帰り道(友情)					伝えにくいことを伝える(普遍)	人権作文		大切な人と深くつながるために(普遍)		今、わたしは、ぼくに(普遍)生きる(普遍)
社会	友情(普遍)					温かい心(普遍)	アジアの仲間(外国人)				
算数											
理科		とトや動物の体つく りとんたらき(普遍)	植物のつくりとは らつき(普遍)	生物どうこのつなが り(普遍)							自然とともに生き る(普遍)
つだ つこ タイム	「よりよく生きる」(70時間)					◎ともに生きる社会を築こう(40時間)					◎卒業プロジェクト(12時間)
	◎知ろう！探ろう！歴史と文化(5時間) ○日本の歴史と文化を調べよう。 ○金閣、「銀閣」「二条城」 ○修学旅行で見てこよう。 ○見学したことをまとめよう。 ○5年生や家族に発信しよう。 ◎仕事について考えよう(5時間)					○自分に、より関係の深い人種問題について調べよう。 ○自分たちでできることを考え、実践しよう。 ○人権集会で全校に発信しよう。 ○南海トラフ地震について調べよう 【交流】各個別課題のゲストティーチャー、競争を繰る会、津山盆踊り保存会など ◎ともよく生きる(8時間)					○これまでの学習や生活をふりかえり、文集づくりを しよう。 ○学習癡表会や6年生を送る会で、6年間の成長を、 保護者とともにふりかえろう。
音楽			日本の楽器に親しもう 三味線・箇笛「阿波踊り」(普遍)						伝えよう日本の音楽 箏・尺八・箇笛「越天楽合譜」「春の海」(普遍)		
国工		人権ポスター(同和問題・普遍)									
家庭	見つめてみよう生活時間(女性)	朝食から健康な一日の生活を(女性)	夏を涼しくさわやかに(女性)	思いを形にして生活を豊かに(女性)	まかれてね今日の食事(女性)				冬を明るく温かく(普遍)	あなたは家庭や地域の宝物(普遍)	生活を変えるチャンス 2年間のまとめ(普遍)
保健	生命の安全教室(犯罪被害者)	水泳(普遍) 滅菌の予防(HIV感染者等)									
道徳	かおりの決心(普遍)	街に消えたあらがとう(障害者)	LGBT+ Q(性自認)	わたしの友だちのこと(HIV感染者)	技術で障がいをなくしたい(障害者)	ネチケット(インターネット)	ブーバーさん(外国人)	教科書無償の運動(同和問題)	識字学級と学習会(同和問題)		
特活	学級目標を作ろう(普遍)	「権利」って何だろう 子どもの権利条約・私が選んだこの1歩(子ども)					小さなかけ橋(ハジセン病)	人権集会(普遍)			自分のこととして(普遍)
英語			できることを紹介しよう(普遍)								「夢宣言」をしよう(普遍)

でわかるタイムの計画・運営・実施(普遍: 仲間づくり)

6. 推進体制（都道府県・指定都市教育委員会を含む）



○関連資料

人権教育年間計画

I 本校の実態

(1) 地域・保護者の実態

本校区は、徳島市の南東にあり、周りを海や川に囲まれている。津田山を中心に、漁業で栄えた面影を残す津田地区と新しい住宅地やマンションが広がる新浜・西新浜地区の2つに大別される。

地域住民には、下校時のパトロールや地域の行事等で子どもを見守り、ともに育てているとする温かい風土がある。

保護者は、本校の教育活動に理解を示してくれているが、PTAの活動に主体的に関わる保護者がいる一方で、あまり関心をもたず参加しない保護者もいる。人権教育に関しても同様で、PTA人権教育部主催の講演会を中心となって計画したり、主体的に関わったりする保護者もいるが、全体的に見ると参加者は少なく、人権教育への関心が高いとは言えないのが現状である。

また、津田幼稚園・小学校・中学校が隣接しており、人権教育や生徒指導面などで常に連携を図っている。

(2) 子どもの実態

児童数は、現在515名であり、子どもたちは全体的に明るく素直で活動的である。しかし、社会環境の変化や家庭環境の多様化により、学習面・生活面ともに配慮や支援を必要とする子どもが増えてきている。

令和元年度には、本校で「中・四国小学校体育研究大会」が行われた。この研究大会に向けて、「すべての子どもが参加し、挑戦する」子どもの姿をめざし、運動が得意でない子どもや苦手意識のある子どもに寄り添った授業づくりを行ってきた。その結果、子どもたちは、自分なりの課題を設定し、友達や教師と関わりながら課題解決を行う姿が見られた。「技能が高いことが優れているのではなく、自分なりの課題に対して精一杯努力することが大切」という考えをもち、自分や友達の頑張りを認め、苦手な子に対して、励ましたりアドバイスをしたりする子や、うまいいかなくともあきらめずに取り組む子どもの姿が見られた。

また、異学年活動「ぴかりんタイム」によって、上学期の子が下学期の子に優しく声をかける姿や、高学年の子どもの言葉かけにより低学年の子が新しい遊びに挑戦する姿が見られた。このような異学年での交流を通して、自分や友達のよさを知り、自他を大切にできるようになりつつある。

しかしながら、日常の学校生活の場面に目を向けると、自分の思いや願いを相手に伝える力が十分でなく、友達と上手くコミュニケーションがとれずに入り組んだりする子どももいる。互いのことをよく知らないために生まれる偏見により、不適切な言動が見られたり、傍観的な立場をとったりする子どもも見られた。体育学習の研究や異学年活動での成果を継続しながら、日常の学校生活においても自分や友達のよさを知り、自他を大切にできるように支援していくことが必要である。

(3) 令和4年度学校教育に関するアンケート集計結果より

①保護者に対するアンケート結果より（よくあてはまる・ややあてはまる）

	R2年度	R3年度	R4年度
お子様は、あいさつや正しい言葉遣いをしている	74.2%	75.9%	71.1%
お子様は、やさしく思いやりのある態度がみられる	95.2%	88.6%	88.1%
本校の教職員は、子どものことを理解するよう努めている	84.4%	84.3%	82.8%

本校の教職員は、保護者からの連絡や相談に、迅速かつ適切に応じている 89.3% → 84.1% → 85.5%

令和4年度の学校教育に関するアンケートの中から、人権に関わる項目について考察した結果、「お子様は、やさしく思いやりのある態度がみられる」については、90%程度の評価を得ているが、「お子様は、あいさつや正しい言葉遣いをしている」については69.5%→75.9%と、まだまだ厳しい評価となっている。その他の項目については、昨年度より低くなっている。令和2年度は、学校行事や懇談など保護者との連携を深める機会が少なかったことも要因の一つであると考えられる。今後も各学年の人権学習や全校での人権集会など学校における人権教育の取り組みを「津田小だより」や「学年だより」などを通して発信していきたい。また、今年度も引き続き人権学習用のファイルを作成し、定期的に持ち帰り、保護者への啓発を図りたい。

②子どもに対するアンケート結果より（よくあてはまる・ややあてはまる）

	R2年度	R3年度	R4年度
自分から進んで、あいさつをしている	81.6%	79.3%	78.4%
学校生活は、楽しい	92.3%	92.6%	91.8%
先生方は、ルールやマナー、人の権利のことをしっかりおしえてくれる	96.0%	98.7%	98.0%
先生方は、あなたのことをわかってくれている	92.4%	96.1%	95.8%
友達となかよくして、学校生活を楽しくしている	95.4%	95.5%	94.4%
友達が困ったり、悩んだりしているときに親切にできている	90.4%	89.5%	89.5%

90%以上の子どもが「学校生活は楽しい」と感じている。しかし、残りの約10%の子どもが「学校生活は楽しくない」と感じていることに目を向けないといけない。今年度も引き続き、安心して過ごせる仲間づくりとともに、人との出会いや体験的な学習などを取り入れ、子どもたちが楽しいと感じ、心に残る学習を工夫していきたい。

また、自分のよさや可能性を認識することができるよう、自尊感情を高めるための取り組みを続けていくことも必要である。一人一人に応じた活躍の場を与え、友達や教師から感謝されたり、認められたりする機会を多くし、自信をもたせていきたい。子どもの気持ちに寄り添い、共感することにより、子ども一人一人の理解に努めなくてはならない。

③教職員による自己評価より（よくあてはまる・ややあてはまる）

	R2年度	R3年度	R4年度
全教育活動において人権感覚を磨き、態度化・行動化にまで高めるよう努力している	95.6%	96.0%	92.3%
よりよいなかまづくりを通して、思いやりの心を育成するよう努力している	95.6%	96.0%	100%

教職員の自己評価は毎年高い。教職員の取り組みが、すぐに成果として子どもの実態に表れない内容もあるが、今後も教職員自身の人権感覚を高めながら、学校教育全体を通して人権教育に取り組んでいきたい。

2 人権教育全体計画

学校教育目標

人権尊重を基盤とし、知・徳・体の調和のとれた、心豊かで、たくましく生きる児童を育てる
～夢と思いやりをもち、自主自立の精神で、自己の生き方を創造する児童の育成～

子ども像

- ・よく考え行動する子
- ・なかよく助け合う子
- ・強くたくましい子

教職員像

- ・愛情をそそぐ教職員
- ・専門性を高める教職員
- ・信頼される教職員
- ・健康で協働する教職員

学校像

- ・あいさつの響き合う学校
- ・一人一人が大切にされる学校
- ・安全で美しい学校
- ・教職員の力が結集している学校

人権教育目標

学校教育活動全体を通して、人権に関する知的理 解を深めるとともに、鋭く豊かな人権感覚を育て、身の回りの差別や様々な人権問題を解決しようとする子どもを育てる。

人権教育重点目標

自他の人権を守るために実践行動できる子どもを育てる

学年別目標

学 年	目 標
かもめ学級	自分を大事にするとともに相手を大事にし、思いや願いを伝え合い、人と関わることができる。
1 年	いろいろな人と関わり合い、楽しく生活できる。
2 年	相手の気持ちを考え、みんなで助け合って生活できる。
3 年	自分のよさや友達のよさに気付き、協力して生活できる。
4 年	まわりの人と心を伝え合い、共に支え合う。
5 年	生活の中にある不合理なことや矛盾に気付き、差別をなくそうとする意欲と行動力をもつ。
6 年	さまざまな差別の不合理や矛盾に気付き、解決しようとする意欲と行動力をもつ。

3 人権教育推進上の基本方針

- (1) 地域や子どもの実態・問題点を把握し、全教職員の共通認識のもとに推進する。
- (2) 子どもの発達段階に即しながら、各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間などの特質に応じ、学校の教育活動全体を通じて人権尊重の理念についての理解を促し、一人一人を大切にする教育を推進する。
- (3) 「人権に関する知識理解」(知識的側面)の習得と「人権感覚」(価値的・態度的側面、技能的側面)の向上を関連することにより、「自分の人権を守り、他者の人権を守ろうとする意識・意欲・態度」を育て、「自分の人権を守り、他者の人権を守るために実践行動」の育成につなげる。
- (4) 学校・家庭・地域の連携を図りながら、地域ぐるみで一貫した子どもたちへの人権教育を推進する。

4 育てたい資質・能力

(人権に関する知識的理解)

	低学年	中学年	高学年
知識的側面	<ul style="list-style-type: none"> 自分や友達にはよさがあり見付け合うことでさらに仲良くなれるることを知る。 身の回りにはいろいろな立場や個性のある人々がいることを知る。 家族や先生など身近な人々の愛情に包まれて、自分が大切に育てられていることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人が、かけがえのない存在であり、個性を認め合うことの大切さを知る。 家族や地域・周りの人々の暮らしや生き方を知り、その誇りに学び、自分をとらえ直すことができる。 偏見や差別とは何か、公平や平等とはどういうことかなどの意味を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 個性や価値観や文化は違っていて当たり前で、その違いが豊かさにつながると理解することができる。 生きていくのに必要な権利を把握でき、自由・平等・社会正義等の意味を理解できる。また権利と不可分なものとして責任を自覚できる。 人権の獲得をめざして成された開いた歴史や、その中で登場する人物や出来事、様々な立場の人々がくらしの中で創造してきた文化を知る。 人権に関する法、宣言、条約などを知る。

(人権感覚)

	低学年	中学年	高学年
価値的・態度的側面	<ul style="list-style-type: none"> 自分にも周りの人にもよさがあることに気付き、大切にしようとすると。 違いを認めあって、誰とでも仲良くしようとすると。 自分がかけがえのない存在であることを感じるとともに、自分のよさを見付けていこうとする。 身の回りにある不合理をみんなで解決しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ありのままの自分を受け入れ、周りの人との信頼関係を築き、自信をもって生活しようとする。 人の痛みや思いが分かり、相手の立場に立って、自分のこととしてとらえようとする。 「ヒト・モノ・コト」に興味・関心をもち、広い視野をもつことと新しいものを作成的に知ることに喜びを感じ、出会いやつながりを大切にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の生活や家族のことを肯定的に見つめ自分の立場を自覚し、自信と誇りをもって生きていこうとする。 お互いを認め、仲良く協力し、力を合わせることの大切さが分かり、集団の中での自分の責任や役割を自覚し、仲間に積極的に関わり、つながろうとする。 偏見や差別、いじめなどの不正や不平等を許さず、人権尊重と正義の立場に立って、自分から進んで関わり、問題解決していこうとする。 他者・他文化に寛容になり、多様性を共感的に理解し、それぞれの「自分らしさ」を認め合いながらと共に生きていくことができる。
技能的側面	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えや思いを表現できる。 友達や周りの人の意見が聞ける。 わがままをおさえ、相手の意見を聞き入れたり、相手の立場に立って考えたりできる。 自分や友達のよさに気付き、伝えることができる。 身の回りの中にある不合理に気付き、自分の意見を考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活を見つめ、繰り、語ることで、自分の気持ちを振り返り、自分自身をとらえ直すことができる。 周りの人の考えを聞き、人権の視点からものごとを判断し、考えることができる。 人とのふれあいやつながりを大切にし、よい人間関係を築くことができる。 自分のよさに気付き、主体的に積極的に体験したり行動したりできる。 話し合いや意見の発表ができ、集団の中で協力的に活動することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> くらしの中にある様々な情報を収集し、その中に存在する差別を見抜き、公平な結論を出すことができる。 差別や偏見、不合理なものに対して学んだことをもとに、自分の意見を言うことができる。 生活の中にある問題を自分たちでよく解決していくことができる。 相手の意見を尊重し、立場を考えながら自分の意見を主張することができる。 自分で選択・意志決定し、行動でき、その行動をふり返ることができる。 自分の中の可能性や能力に気付き、新しいものに挑戦する。

5 本年度人権教育研究主題

自己を見つめ、互いを認め合い、豊かな人権感覚を身に付け行動できるつだっ子の育成
— 自他のよさに気付き、安心して学び合える仲間づくりを通して —

<主題について>

自己を見つめ

様々な人との関わりの中で、自分のよさや持ち味に気付き、自己肯定感を高めることができる子ども

互いを認め合う

自分の大切さとともに他の人の大切さも認めることができ、喜びや痛みも分かち合えるような仲間づくりや人間関係づくりができる子ども

豊かな人権感覚を身に付け行動できる

人権に関する知的的理解を深めたり、多様な人と関わったりすることにより、豊かな人権感覚を身に付け、部落差別をはじめとするあらゆる人権問題の解決をめざして行動できる子ども

<副主題について>

「人権教育はすべての教育の基本であり、各学校においては、児童生徒の発達段階に応じ、教育活動全体を通じて創意工夫して取り組まなければならない。」（第三次とりまとめより）

以上のことを念頭に、研究の手立て（副主題）について述べる —

(1) 自他のよさに気付く…自己評価力を高めることにより、自尊感情が高まり、他者評価力も高められるようになる。

- ①子ども一人一人の理解に努め、その子なりの頑張りを認める。
- ②子どもが「やってみよう」と挑戦できるような、めあて・展開を設定する。
- ③子どもの思いに寄り添い共感しながら、子どもの学びの状況（過程）を評価する。
- ④「私はここがこれだけできた」と自分の成長（変化）に気付き、自信をもって言えるような振り返りができるようになる。

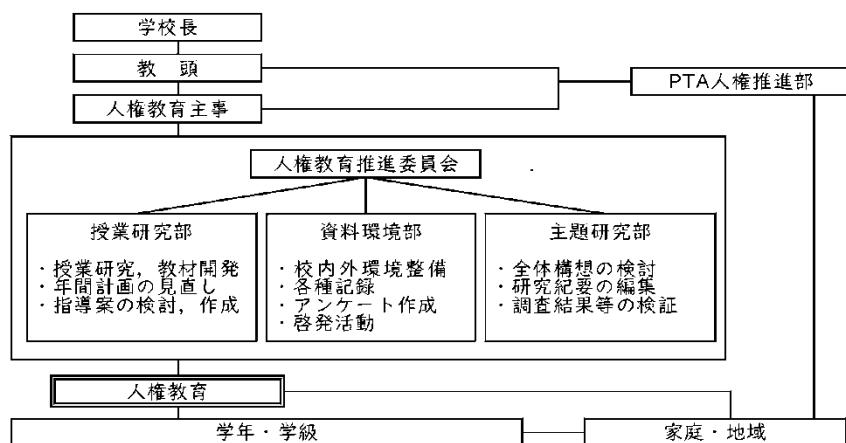
(2) 安心して学び合える仲間づくり…自他の人権の大切さを認識し、態度や行動に表れるようになる。

- ①自分の意見を安心して言える授業を行う。（多様な意見を大切に）
- ②クラスの中に居場所ができるように、一人一人のすばらしいところを共有する。
- ③子どもの表面（言動）だけを見るのではなく背景（なぜそうしたのか）を考える。（悩みや苦しみをうまく表現できない子がいる）
- ④日頃から、「自他の人権を守る」ために守るべきルールがあることを、子どもと共に有し、子どもが納得できる生徒指導を行う。「ダメなものはダメ」の「ダメ」がなぜダメなのかきちんと説明し、納得できるようになる。

(3) 人権に関する知的的理解と人権感覚を高め、実践力を育む授業づくりに努める。

- ①教職員研修を充実し、個別的な人権課題についての知識理解に努め、人権意識と指導力を高めるとともに、苦しんでいる人や差別されている人の立場に立つことができるようになる。（※いじめをした子どもや、差別した人の背景も考えることができるようになる。（2）（3）と関連）
- ②同和問題については、徳島県の実態における重要課題として、正しい知識を理解しより確かな人権感覚を身に付け、実践行動をすることができるようになる。そして、不合理なものに対して疑問をもち、それを変革しようとする意識を高めるとともに、すべての人が幸せに生していくための生き方を見出し行動できるようになる。

6 校内人権教育研修組織



7 教職員年間研修計画

月	研 修	月	研 修
4	<input type="radio"/> 不登校の未然防止研修 <input type="radio"/> 人権教育年間計画の作成 <input type="radio"/> 学力向上について <input type="radio"/> 新型コロナ感染症対応について	10	<input type="radio"/> 学年研修 <input type="radio"/> 授業研究会 <input type="radio"/> 授業研究会
5	<input type="radio"/> 食物アレルギー・エピペン講習 <input type="radio"/> 学年研修 <input type="radio"/> 児童の実態について共通理解 <input type="radio"/> 生徒指導上における児童理解	11	<input type="radio"/> 人権教育授業参観日・講演会 <input type="radio"/> 徳島市・佐那河内村人権教育研究大会 <input type="radio"/> 全市教科部会
6	<input type="radio"/> 人権教育についての共通理解 <input type="radio"/> 公開授業(児童理解)かもめ学級 しおかぜ学級 <input type="radio"/> 下校訓練	12	<input type="radio"/> 学年研修 <input type="radio"/> コンプライアンス研修 <input type="radio"/> 授業研究会
7	<input type="radio"/> コンプライアンス研修 <input type="radio"/> 学年研修	1	<input type="radio"/> 情報教育 <input type="radio"/> 学校評価・学力向上について <input type="radio"/> 授業研究会
8	<input type="radio"/> 県人教夏期講座 <input type="radio"/> 市ブロック別生徒指導研修会	2	<input type="radio"/> 人権教育 <input type="radio"/> 特別支援教育中学校区連絡協議会 <input type="radio"/> 授業研究会 <input type="radio"/> 授業研究会
9	<input type="radio"/> 学年研修	3	<input type="radio"/> 年間計画の見直し <input type="radio"/> 次年度へ向けての計画

8 各領域・教科等における人権教育のねらい

(1) 生活指導

- すべての教育活動が人権尊重の精神で貫かれ、一人一人を大切にし、互いの連帯感を育てる日常の指導を心がける。
- 教職員と子どもとの信頼関係に満ちた、温かい人間関係をつくる。
 - 相互に支え合い、励まし合う仲間づくりに努めるなどして、人権の大切さを理解できるようにし、さまざまな人権問題を自分の問題として取り組めるようにする。
 - 子ども一人一人が学校・学級生活の中で差別事象に気付き、その不合理や矛盾を追求する鋭い人権感覚を養えるように配慮する。
 - 子ども一人一人を理解し、学級の中に居場所を確立できるようにし、支え合う集団の中で生きる喜びを実感できる仲間づくりを進める。

(2) 学校行事

学校行事	人権教育のねらい
入学式・始業式・終業式 修了式・卒業式	集団としての自覚を養い、学校全体で差別を許さない意欲と実践力をもった子どもを育てる。
観劇など	人間性豊かな心情を育て、相手の気持ちになって主体的に取り組む態度を養う。
身体測定・交通安全教室 プール開き・運動会 新体力テスト・避難訓練	安全に気をつけて、互いに助け合い励まし合って、みんなの力で実現し、自分の問題として勇気をもって立ち向かう子どもを育てる。
校外学習・修学旅行・宿泊活動	校外学習・集団宿泊的行事を通して、支え合い励まし合って、温かい人間関係を育てる。
大掃除・プール掃除	勤労生産・奉仕的行事を通して、助け合い認め合って最後まで協力する態度を養う。

(3) 生徒指導

相手の立場に立って考え、認め合い、高め合い、共に伸びていこうとする子どもを育てる。すべての子ども一人一人の人格のよりよき発達をめざす。

(4) 特別支援教育

- ① 将来の自立に向けて必要な力を養う。
- ② 特別支援学級との交流を深め、障がいについての正しい認識をもち、互いのよさを認め合いながら、共に生きようとする態度を養う。

学年	ねらい
1・2学年	生活の場面からかもめ学級の友達のよさに気付き、相手を思いやる心を育てる。
3・4学年	かもめ学級の友達の行動や感じ方を個性として認め合い、本当の仲間として接する態度を養う。
5・6学年	かもめ学級の友達との関わりのなかで、障がいについての理解を深め、共に生きることの大切さが分かり、自分ならどうするかを考え行動する行動力や実践力を育てる。

(5) 教科等

教科等	人権教育のねらい
国語	心情を豊かに育み、人の痛みが分かる思いやりの心を育てる。基礎的な言語能力を養い、自分の考えを豊かにして、自分の思いや願いを話したり書いたりできる能力を高める。 相手の立場を尊重しながら話し合う態度を養う。
社会	くらしの中にある問題点を見付け、科学的なものの見方や考え方で解決していくとする態度を育て、不合理や矛盾に立ち向かう力を養う。 地域に住む人々の生活や労働実態から、地域の課題を明らかにし、自らの生き方を考えることができる子どもを育てる。
算数	個々の考え方を生かした学習の流れを大切にし、論理的な思考力や数理的に処理する能力や態度を育てる。
理科	問題解決活動を通して、科学的・合理的に物事をとらえ、解説して追求しようとする態度を養い、日常生活における、非科学性・不合理性をなくす態度を培う。
生活	自然と親しみ、自然を科学的に認識できる子どもを育てる。 家庭や地域の生活に触れることから、五感を通して社会を認識できる子どもを育てる。
音楽	音楽経験を生かして、生活を明るく潤いのあるものにし、相互理解を深める。お互いによい点を認め合い、協力し合って合唱や合奏をやり遂げようとする態度を育てる。
図工	自分の願いや思いを、いきいきと創造的に表現できる能力を育てるとともに、他の作品に込められた願いや思いを感じとり、大切にする豊かな情操や態度を養う。
家庭	家庭生活についての基礎的な理解を深め、家族の一員として家庭生活をよりよくしようとする実践的な態度を養うとともに、人権尊重や科学的・合理的なものの見方・考え方を育てる。
体育	個人差に応じて運動の楽しさや喜びを実感することができるようになり、お互いに支え合い、協力し合って運動に取り組もうとする態度を育てる。
保健	身体や疾病に対する正しい知識を身に付け、心身ともに健康な生活をしようとする態度を育てるとともに、命の尊さが分かり、お互いを尊重する心情を養う。
道徳	人権尊重の精神を基盤とし、相手の立場に立ってものを考え、行動できる心情を育てる。
特別活動	望ましい人間関係をつくるとともに身近な生活上の諸問題に気付き自分たちの問題として解決していく力を育てる。
総合的な学習	生活の中にある具体的な課題を見付け出し、それを主体的に学び問題解決しようとする資質や能力を育てる。学校から地域・社会へと学習を広げることにより、人との出会いやさまざまな体験活動を通して自分の生き方を考え、社会の一員としてともに生きようとする意欲や行動力を育てる。
外国語活動	外国語を通じて、互いの言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る。

9 PTA活動における人権教育

PTA各部	人権教育への取り組み
総務部	○ 各部の人権教育の推進活動の総括。
庶務部	○ 各部の人権教育の推進活動における情報伝達。
地域部	○ 交通当番や交通安全教室など、子どもの命を守る活動の計画。
文化部	○ 市P連文化祭への積極的参加を呼びかけ、出し物の内容と人権教育との関連をはかる。
広報部	○ 人権教育に対する意識調査と広報活動。 ○ 人権尊重の立場に立った原稿の作成と編集。
保健体育部	○ 体育行事の計画と実施により、子どもたちの交流や保護者間の交流をはかる。
家庭研修部	○ 家庭における人権教育の推進活動。
ベルマーク部	○ ベルマーク活動などにより、子どもの教育環境整備への貢献。
人権教育推進部	○ 校内人権教育研修会の計画と実施。 ○ 人権教育講演会等各研究会への参加。
まつり部	○ 子ども夏祭り・六右衛門祭りへの出店協力。

10 かもめ学級及び各学年の「人権学習年間計画」と「主な学習内容とねらい」 (次項より)